



よいことの
ために
手を取りあおう



RI 会長：フランчесコ・アレツォ

2620 地区ガバナー：稲葉 雅之

会長：齋藤 高子 幹事：植山 和人 会場監督：妻鹿 政光

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2026年4月10日（金） 晴 第1728回例会 週報 NO. 28

司 会：杉本靖和 会場監督補佐
点 鐘：齋藤 高子 会長
ロータリーソング「我らの生業」
「四つのテスト」 栗原伸夫さん
ソングリーダー 中村将義さん
シェークハンド・タイム

ゲスト

頭陀寺住職 鈴木章真様

会長挨拶



本日はなかなか聞けないお話で、楽しみにしています。

川井ガバナー補佐は今日、地区のお役目でフィリピンに行っているからお休みです。その川井さんから、1 か月ほど前に 2 月のガバナー月信のことを会長挨拶で話すようにご指導いただいていたのですが、IM もあったりしてなかなかその機会がありませんでした。

ガバナー月信、ロータリーの友など皆さんお読みになっているでしょうか？

稲葉ガバナーはことあるごとに心温かいお話をされていて、この年度の会長でよかったとよく思います。ガバナー月信の 2 月には「四つのテスト」のことが書かれています。「なぜ私たちは四つのテストを唱和し続けるのか」それは私たちが「できていない」から

なのだそうです。「自分ができていないと自覚する人のほうが結果として成長できるという謙虚な探求心」と続けています。「四つのテスト」を毎月読んでいますし、皆さんもそれぞれの会社で経営理念を毎日唱和されているのではないのでしょうか。なぜかと聞かれたことはありませんが、みんながこれを守っているか確認するためなのだと感じました。

地区やRIから配信されるものは時間がある時にでも読むと、何か皆様のお役に立つものを見つかることができると思います。

幹事報告



- ・会費請求書がレターケースに。
- ・令和 7 年青森県東方沖地震の募金箱を回します。
- ・例会終了後理事会があります。
- ・次週はクラブ協議会です。

委員会報告

☆中村将義シスタークラブ委員長



4 月 25 日（土）京都中 RC の

35 周年記念例会はホテルオークラ京都で 14 時 30 分受付です。前日の南禅寺見学は 15 時山門前に集合、その後のウェルカムパーティーは、17 時半受付です。

スマイル

♪ 齋藤高子さん、植山和人さん

今日の卓話は出席委員長建部さんの紹介で頭陀寺住職 鈴木章真様の豊臣秀吉と頭陀寺の話です。今年の大河ドラマ「豊臣兄弟」話題の話なので楽しみです。



卓話「天下人豊臣秀吉と頭陀寺 — 天下人が初めて土官した地 —

☆ゲスト紹介：建部博仁

出席委員長



鈴木様は浜松市出身。高野山真言宗のお寺である頭陀寺の住職です。様々な公務にも就かれていますが、現在は特に地域の子どものコミュニティの中核となる寺院の存在を重視した活動を年間を通じて展開しています。

☆鈴木章真様



皆さん、豊臣秀吉が浜松にいたことをご存じでしょうか。たいてい7割くらいは知らない方が多いです。認識されつつはあると思います。

頭陀寺の宗派は高野山真言宗、開基は680年ごろ遠州灘の漁師によってご本尊が引き上げられました。703年文武天皇の夢に薬師如来が出てきて、そう言うことがあることをお知らせになりました。それで勅願寺(天皇の命令で建てられた寺)となりました。

863年清和天皇によって定額寺となります。これは国分寺に次ぐ位です。室町時代は今川氏の庇護のもとに繁栄をしました。

廃仏毀釈、神仏分離などにより甚大な被害を受けました。太平洋戦争では全山焼失しましたが、昭和53年、本堂が建立され現在に至っています。

遠州地方の高野山真言宗寺院。皆さんは多分、一回は行っているでしょう。鴨江時、快真寺、龍禅寺、入野の不動院、常楽寺、岩水寺、細江の長楽寺、摩訶耶寺、浜納豆で有名な大福寺、應賀寺、法多山尊永寺な寺院があります。浜松には250のお寺がありますが、8割は曹洞宗とか臨済宗とかの禅宗です。その中でも浜松の真言三か寺といえば、鴨江寺、龍禅寺、そして頭陀寺です。真言宗はもともご祈祷のお寺です。

さて、時代は戦国時代。ある少年が武士になるために東国、浜松の地へやってきます。で3年間、松下家へ士官したのが、豊臣秀吉です。15歳から18歳まで松下屋敷に奉公しました。松下之綱と同じ年であり、秀吉も特別な思いがあったのではないかと不思議なことに生まれた年も死んだ年も同じです。

その時の支配体制は今川義元、引馬城城主は飯尾豊前の守。秀吉

が来たのはこの頃です。

秀吉伝説がいくつかあって、太閤記ものとして、甫庵太閤記、天正記、太閤軍記、太閤素生記、この4つが主なものです。これらに秀吉が浜松に来たことが書かれています。太閤素生記は、飯尾豊前守の娘キサが自分の孫に伝えたもので、原本はなく、写しが残っています。その中に「栗を取り出しべる真似をした」という記述があるのですが、これはどのことかわかりますか？浜松東照宮に銅像が立っています。



秀吉が拾われたのは今の馬込町、文芸大のあたりです。松下嘉兵衛に見出されました。その頃そのあたりには修験者野村がありました。修験者というのは、諜報活動をしていた人たちで、大名たちは情報合戦をしていたのです。秀吉はそういう仲間になりたかったのでしょうか。

地域に伝わる秀吉伝説は、秀吉が鎌を研ぐために葦の葉を切り落としたという説による「方葉の葦」で遠州七不思議として残っています。もう一つは「目刺橋」で、メダカを相手に松葉で手裏剣の練習をしていてメダカの目に刺さったので片目のメダカが見られるというものです。

秀吉が松下家を去ったのは、嘉兵衛には気に入られましたが、よそ者ですので他の者からは嫌われた。それで退職金を渡されて、別の武将に奉公するようという説などいくつかあります。

頭陀寺城松下屋敷は100メートル四方の屋敷であったと言われていて、今は石碑が残るのみです。2001年に発掘調査があり、建物の基礎が見つかったそうです。松下家は貿易の商人のようなこともやっており、そのような品も見つかっています。

頭陀寺の最近の活動をご紹介しますと、子どもたちを集めて神輿や祭りなどをやったり頭陀寺町を語る会を開いたりしています。また、浜名高校の史学部が研究をまとめて全国大会に出ます。

10年のうちに3回大河ドラマが来ましたので、それなりに人も来るようになりました。浜松で一番古い寺ということで今後ともよろしくお願い致します。



SAA 司会 杉本靖和さん



ソングリーダー 中村将義さん



「四つのテスト」 栗原伸夫さん

出席報告

発表：渡辺 豪 出席委員

会員数	40名
出席者数	23名
出席算定会員数	35名
出席率	65.71%

前々回出席者数	24名
前々回出席率	68.57%

